

ワンダフルメンバー

29

事業所紹介コーナー

No.20

# ダイハツ九州 株式会社

大分県中津市大字昭和新田1番地

<http://www.daihatsu-kyushu.co.jp/>

DAIHATSU MOTOR KYUSHU CO.,LTD.



ダイハツ九州株式会社 会社概要

プロフィール

社名	ダイハツ九州株式会社		
設立	1960年(昭和35年)6月1日		
住所	本社&大分(中津)工場 大分県中津市大字昭和新田1番地 久留米工場 福岡県久留米市田主丸町吉本1番地		
代表者	代表取締役会長	東迫 旦洋	
	代表取締役社長	魚井 和樹	
資本金	60億円(ダイハツ工業株100%出資)		
従業員数	2,900名(2009年1月1日現在)		
事業内容	自動車、産業車両、その他各種車両及 びその他部品の開発・設計・製造・販 売並びに修理など		



本社&大分(中津)工場

## 大分[中津]工場コンセプト



**C・C・C WAVE**  
Clean/Compact/Comfortable

3つの大きな波を起こす新時代の工場  
A new plant for a new era, stressing three key elements

## 第2工場コンセプト



2007年11月より生産を開始した第2工場は、軽自動車の生産に特化し、シンプル・スリム・コンパクトに拘りました。

## ダイハツ九州株式会社の沿革

当社は、1960年6月群馬県前橋市に「株式会社ダイハツ前橋製作所」として設立され、関東甲信越地区向けに軽三輪自動車「ミゼット」の製造を開始し、その後は「ハイゼットシリーズ」の生産を受け持ち、1977年10月「ダイハツ車体株式会社」と商号を変更しました。

2004年11月、前橋地区を閉鎖し、大分県中津市に本社ごと移転しました。2006年6月に現在の「ダイハツ九州株式会社」に商号を変更し、2007年11月には大分(中津)第2工場を建設、翌年8月に大分(中津)工場向けの軽乗用車用エンジンを生産する久留米工場の操業を開始しました。

現在は、ハイゼットトラック・ハイゼットカーゴ・アトリーワゴン・ビーゴ・ミラ・ムーヴコンテを製造しています。



塗装工程



ボデー工程



プレス工程

大分(中津)工場  
自動車生産の流れ

# "Green & Clean" Plant

スモールカー分野で世界No.1のクルマづくりを  
めざすエンジン工場



久留米工場

## 久留米工場 エンジン生産の流れ



鋳造工程



機械加工工程



組付工程



検査工程

最後にりましたが、ダイハツ系連合健康保険組合様及びワンダフルメン  
バー各社様には大変お世話になっております。  
これからもダイハツ九州株式会社をよろしくお願いいたします。

当社は、自然豊かな環境の下、地球環境、生産効率、労働環境、地域との  
共生等に配慮した、高品質で低コストなスモールカーを生み出すモデル工場  
と「スモールカー分野で世界No.1の車づくり」を目指しています。  
大分（中津）第1、第2工場の年間生産能力は46万台（2直定時）、久留米  
工場の年間エンジン生産能力は21.6万基（2直定時）あり、ダイハツグル  
ープの西の主力生産拠点として成長しています。

### めざせ「スモールカー分野で 世界No.1のクルマづくり」

中津市の紹介  
本社のある中津市は大分県北部、福岡県との県境に位置します。2005  
年3月に1市3町1村が合併、人口86,366人と大分県で3番の都市です。  
中津市は中津城を有する城下町で、その歴史は1587年黒田孝高（如水）  
が豊前国中津城主となったことに始まり、それ以後城主が変わっても城下町  
として栄えてきました。中津出身者としては、オランダ語の解剖書を訳し  
「解体新書」を著した前野良沢や、「学問ノススメ」の著者であり、慶応義塾  
の創設者の福沢諭吉がいます。市街地には今も城下町の名残ある町並が広が  
り歴史的な文化財も多く、また、市域南部は菊池寛の「恩讐の彼方に」で有  
名になった青の洞門や耶馬溪等の景勝地があり、沢山の観光客が訪れます。



安全衛生環境室スタッフ



人事労務Grスタッフ



検査工程



組立工程